

「地区新人大会・県駅伝大会激励会」(令和3年9月22日(水))

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長

**激**励会を行いました

今週25日(土)、26日(日)に地区新人大会が開催されます。それを前にして、22日(水)、放送による激励会を行いました。部活動ごとにメンバーを紹介し大会に臨む決意を述べました。

また、県駅伝競走大会に出場する選手の代表生徒も、上位入賞を果たし、さらなる上位大会への出場を抱負として述べました。

一方、3年生の応援団と執行部の代表生徒からは、自分たちがこれまでの大会の経験から学んだことを教訓として、仲間を信じること、コミュニケーションをとること、感謝の気持ちを忘れないこと、などの大切さを話してくれました。

全体での激励会に先立って、21日(火)には、2学年で激励会を行いました。試合さながらのユニホーム姿からは、先輩からバトンを引き継いだ責任感を感じることができました。大会での健闘を期待します。



生徒会執行部メッセージ「目指せ頂点 もえろ船中」



3年生から後輩への激励のメッセージです。(昇降口)



(2学年) 学年での激励会。部活動ごとステージに上がり、みんなの前で決意表明をしました。



(サプライズエール) 休み時間に、3年生が後輩のためにエールを送ってくれました。(ギャラリーで)



(選手の決意) 試合に臨む決意がひしひしと伝わってきます。大会がない生徒からの応援メッセージも掲示されています。

◆◆◆◆◆◆ 【読書案内】 ◆◆◆◆◆◆

瀬川晶司「泣き虫しょったんの奇跡 -サラリーマンから将棋のプロへ」(2006年、285ページ) 著者は、中学3年の時、プロ棋士を目指して養成機関の奨励会に入りました。22歳の時、プロ棋士一步手前の三段に昇段しましたが、その後低迷。26歳の時、年齢制限の規定により奨励会を退会しました。退会后、大学に進学し、やがてサラリーマンとなりますが、プロとの公式戦で勝率7割以上という驚異的な成績を収め、プロ入りを希望する嘆願書を提出。61年ぶりに行われたプロ編入試験将棋に合格し、念願のプロ棋士となりました。彼を支えた人々への感謝の気持ちに胸を打たれました。読者を勇気づけてくれる自伝です。



旧暦8月15日の「中秋の名月」に当たる9月21日は、満月と8年ぶりに重なる十五夜となりました。